



# ひとり1改革運動



「ヒヤリ・ハットや失敗から学んでよりよい職場」  
「風通しの良い職場づくり」

改革賞

## 日本紅斑熱検体の採取に関する注意点の周知

【くらし・環境部 環境衛生科学研究所 微生物部 ウイルス班】



環境衛生科学研究所は、平成29年度に感染症の病原体検査に関し、医療機関と保健所の間で必要な検体がスムーズにやりとりできるよう「採取検体早見表」を作成し、保健所に配布しました。

しかし、日本紅斑熱の採取検体については、普段の臨床検査で採取されることの少ない部位であることから早見表だけでは適切な検体が提出されないことがありました。

そこで、日本紅斑熱に関しては、早見表に加え、写真入りの採取方法を作成し、視覚的に確認できるようにしました。

(効果)

不適切な検体採取により検査が出来なかった件数が減少しました。

H30.4~R1.8.1 : 8/38件 (21%)



R1.8.2~R1.10.10 : 1/12件 (8%)

### 取組にあたって留意した点、工夫した点は？

「採取検体早見表」は、提出検体の適切化に成果を出しましたが、日本紅斑熱の検査には課題があったため、新たな周知方法として、写真等の視覚情報を載せることにより、文字情報が少なくても理解しやすく、保健所から医療機関に具体的な伝達ができるよう工夫しました。

### 届出の機会が多いウイルスまたはリケッチア感染症の採取検体早見表

静岡県環境衛生科学研究所

感染症の分類	臨床診断名	採取検体 <sup>*1</sup>
4類感染症	E型肝炎	糞便、血清
	A型肝炎	糞便、血清
	シカウイルス感染症	全血or血清、尿
	デング熱	全血or血清
	SFTS	全血or血清、咽頭ぬぐい液、尿
	つつが虫病	全血 <sup>*2</sup> 、ダニ刺咬部痂皮 <sup>*3</sup> 、血清(急性期と回復期の両方が望ましい) <sup>*4</sup>
	日本紅斑熱	全血 <sup>*2</sup> 、ダニ刺咬部痂皮 <sup>*3</sup> 、血清(急性期と回復期の両方が望ましい) <sup>*4</sup>
日本脳炎	髄液、血清	



### リケッチア症の遺伝子検査検体

紅斑熱群リケッチア 日本紅斑熱) : 痂皮 (Eschar) > 紅斑部生検 > 急性期血液\*  
つつが虫病 : 痂皮 (Eschar) > 紅斑部生検 > 急性期血液\*  
発疹チフス群リケッチア : 紅斑部生検 > 急性期血液  
\* 血液は抗菌薬投与前

検査への提出は、  
○痂皮等は乾燥しない程度に生食等で湿らせたガーゼ等に包んで検査室に。  
○セラムチューブやスピッツ等では綿球を使う便利。



### 【静岡産業大学 情報学部 小泉 祐一郎 教授 から一言】

失敗は挑戦の証であり失敗の原因から学んで新たな挑戦をすることがPDCAサイクルを回すことです。本事例は、失敗の経験を生かして挑戦し続ける姿勢が顕著であり、PDCAサイクルの模範となるものです。試験研究機関がイニシアチブを発揮して行政機関と専門的知見の情報共有を図っている点も優れています。